清　泉

令和８年 10 月 30 日
昭島市立清泉中学校
校長　　佐藤　晴美

昭島市立清泉中学校　〒196－0024　昭島市宮沢町1－9－1
電話042－541－0762　FAX042－541－6869　http://www.city.akishima.ed.jp/～seisen/

「挑戦のその先に」

副校長　　加藤　崇博

朝夕の気温も低くなり、木々の葉の色づきの様子に、秋の深まりを感じる季節となりました。今年度も折り返しを過ぎ、学校生活も後半に入りました。生徒たちはこれまでの学校生活の様々な場面で、自分たちの可能性を広げる挑戦を重ねてきました。その挑戦は、過程で多くの学びや気づきをもたらし、生徒たちを成長へと導いています。今回は、その取組の様子を紹介します。

５月に実施した体育大会では、生徒の発案により「部活動対抗リレー」が企画されました。実施に向けて、数多くの話し合いを進めてた結果、競技としての楽しさはもちろん、それぞれの部活動の特色が生かされ、大きな盛り上がりを見せました。その背景には、生徒自らが体育大会を、「楽しくしたい」という思いと行動力がありました。

また、先日実施した合唱コンクールも、生徒たちにとって大きな挑戦となりました。学級で心を一つにしてよりよい合唱をつくりあげるために、互いの意見を尊重しながら練習を重ねていました。このように一人では成し得ない目標に向かって協力しあう経験は、生徒たちを大きく成長させてくれています。さらに昨年度に引き続き、本校では、生徒企画型の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」に取り組んできました。この取組は、生徒自身が課題を見いだし、アイディアを出し合い、企画をしました。自分たちで考え、自らが行動する経験は、生徒一人一人の主体性や創造性を育む貴重な学びとなっています。

これらの活動に共通しているのは、「あらかじめ正解が用意されていない中で、自ら考え、仲間と協力しながら新しいものを作り出そうとする姿勢」です。そこには、失敗を恐れず、一歩前へ踏み出そうとする挑戦する姿勢があります。

これからの社会は、変化が激しく、将来を正確に予測することが難しい時代であると言われています。そのような時代だからこそ、目の前の変化を柔軟に受け止め、自ら課題を見つけ、学び続ける力が求められます。また、自分なりに試行錯誤を重ね、周りの人達と協働しながら新たな価値を生み出していく力も必要になります。

学校は、単に知識を身につける場だけではありません。様々な挑戦を通して、自らの可能性を発見し、他者と力を合わせながら未来を切り拓く力を育む場でもあります。本校の生徒たちが見せてくれている挑戦する姿は、まさにこれからの時代を生きていくために大切な学びそのものです。

生徒たちには、予測できない変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合い、自らの可能性を発揮してほしいと思います。これからも教職員は、生徒一人一人の挑戦を支えてまいります。保護者・地域の皆さまには、引き続き本校の教育活動へのご理解・ご協力をお願いします。